

## 2020年度第2四半期の自動車部品工業の経営動向

一般社団法人日本自動車部品工業会は、2020年11月1日現在での会員企業426社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上、かつ前年同期比較が可能な66社の2020年度第2四半期(2020年4月1日～2020年9月30日までの累計)の経営動向を各社の決算短信により集計・分析した。日本基準適用企業は50社、IFRS適用企業は16社だが、ここでは便宜上合算した数値を掲載する。

### 1. 経済・事業環境の概況

○2020年度第2四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が甚大な影響を及ぼし、世界合計の販売台数が2020年4～9月累計で3,626万台(前期比約▲747万台)という大幅な落ち込みとなった。欧米地域では感染者数の増加に伴う広域かつ長期的なロックダウンを余儀なくされ、工場閉鎖が実施されるなど、販売台数だけでなく生産台数も大きく変動した。一方で、早期に感染症を抑え込んだ中国では、被害が少なく好調な回復を見せている。

(1) 国内自動車販売：202.7万台(前年同期比▲22.6%)

完成車輸出：145.2万台(前年同期比▲39.2%)

(2) 世界自動車販売：3,626万台(前年同期比▲17.1%)

(3) 外国為替レート：対ドル106.9円、対ユーロ121.3円、対中国元15.3円で推移

※(1)(2)：2020年度第2四半期の累計値、(3)2020年度第2四半期の平均値

### 2. 2020年度第2四半期業績(66社合計)

(単位：億円)	2019年度第2四半期	2020年度第2四半期	前年同期比
売上高	127,742	95,167	-25.5%
営業利益	5,562	-2,075	-
営業利益率	4.4%	-2.2%	-6.5pt
親会社に帰属する当期純利益	3,435	-2,596	-
当期純利益率	2.7%	-2.7%	-5.4pt

○前年同期比で大幅な減収・減益。

○売上高は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な市場の冷え込み、及び生産困難な状況に伴い、大幅減収。利益は、売上高の大幅な減少に伴い、大幅減益。

### 参考 業績動向(66社合計 売上高と営業利益の動向)

(社数・構成比率)		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	0社	0.0%	0社	0.0%	0社	0.0%
	減収	0社	0.0%	66社	100.0%	66社	100.0%
	計	0社	0.0%	66社	100.0%	66社	100.0%

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める。

### 3. 2020年度通期の業績見通し(58社合計)

(単位：億円)	2019年度通期実績	2020年度通期予想	前年同期比
売上高	237,228	204,443	-13.8%
営業利益	6,368	4,000	-37.2%
営業利益率	2.7%	2.0%	-0.7pt
親会社に帰属する当期純利益	2,504	1,335	-46.7%
当期純利益率	1.1%	0.7%	-0.4pt

○2020年度第1四半期時は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により不確定要素が多く合理的な算定が困難な為、発表を見送った企業が多かったが、第2四半期時は現時点で入手可能な情報や予測に基づき、おおよその企業が予想を発表した。

○2020年度第1四半期時の発表に比べ、売上高・営業利益共に上方修正の傾向となった。 以上